

平成29年度 港北区地域ケアプラザ事業実績評価

施設名	新吉田地域 ケアプラザ	篠原地域 ケアプラザ	高田地域 ケアプラザ	下田地域 ケアプラザ	大豆戸地域 ケアプラザ	樽町地域 ケアプラザ	城郷小机地域 ケアプラザ	日吉本町地域 ケアプラザ	新羽地域 ケアプラザ		
指定管理者名等	(福) 横浜共生会	(福) 横浜市社会福祉協議会	(福) 緑峰会	(福) 横浜共生会	(福) 横浜市福祉サービス協会	(福) 横浜共生会	(福) 秀峰会	(福) 緑峰会	(福) 横浜共生会		
評価	A	A	A	A	A	A	A	A	A		
評価内容	全事業共通	施設全体としての情報共有と協力を重視し、ケアプラザの役割の周知及び地域のニーズの把握に努めています。また、地域住民からの相談に真摯に対応し、民生委員や行政と協力しながら解決に向けた支援に取り組んでいます。	地域の福祉保健活動団体との情報交換やサービス事業所間での交流により、地域のネットワーク構築に取り組んでいます。また、5職種会議を定例開催することにより、職種間での連携に取り組んでいます。	地域の福祉保健活動団体との情報交換により、地域のネットワーク構築に取り組んでいます。また、地域包括支援センターと地域活動交流部門が連携してサロンを開催する等、地域課題に対して連携して事業に取り組んでいます。	職員同士の情報共有をもとに、タイムリーに事業を企画し、新たな利用者の掘り起こしに注力しています。また、自治会や地域の活動団体との関係性の向上に努めるとともに、民間企業との協働などにも積極的に取り組み、地域のネットワークの構築を図っています。	5職種間の連携と協力体制を整えて総合相談にあたるほか、積極的にアウトリーチに取り組み成果を上げています。また地域住民との信頼関係のもと新たな人材開発に努め、介護予防事業やスリーAの拡大にかかわる活動を支援しています。	綱島地区、師岡地区で出張相談を実施して相談者が利用しやすい環境づくりに取り組んでいます。また、地域ケア会議を地域包括支援センターと地域活動交流部門が連携して開催する等、各部門の専門職が情報共有、連携して事業に取り組んでいます。	様々な地域資源や学校との情報共有また地域活動を積極的に把握し、調整しながら協働の取組につなげています。設定した目標を関係機関と共有し、先を見越した事業間の連携が計画的に行われており、人材の発掘や育成などに成果が出ています。支えあい連絡会やひとつプランの事務局としても大きな役割を果たしています。	地区診断の結果をもとに、地域住民や関係機関と連携しながら地区の課題解決に取り組む、新たな活動の創出に貢献しました。また、ひとつプランにおいては、サポートスタッフとして事務局機能を担うとともに各地区の活動支援に注力しています。	利用者全体会等で団体の交流会を開催して、課題解決や団体同士の連携に取り組んでいます。また、地域にある施設を出張相談の場所として活用したり、事業を開催して施設との連携に取り組んでいます。	
	地域活動交流事業	自主事業の活用を通じた活動者のやりがい・生きがいづくりを支援するとともに、活動者自身による人材の発掘や企画運営を支援しています。またボランティア育成では、スキルアップとともに施設内の事業を活用することにより継続的な活動への参加につながるなどの成果がありました。	高齢者だけでなく、子育て・障害児者支援の事業を実施しており、自主活動化に向けた支援にも取り組んでいます。また、地域住民の関心が高いテーマについて講座を開催し、幅広い世代が参加できる工夫をして担い手づくりに取り組んでいます。	高齢者だけでなく、子育て支援や障害児余暇支援事業など幅広い方を対象とした取り組みを行っています。また、「子どもの居場所づくり」講座を通じて、新しい担い手の発掘に取り組んでいます。	既存のボランティア活動の活性化を支援するほか、地域資源を活用した事業の企画に取り組んでいます。日吉地区のひとつプランにおいては、下田地区のケア委員会の事務局として、調整・とりまとめ等地域住民の共通理解を支援しながら取組を進めています。	参加者の自主性を引き出す働きかけや、地区特性を活かし地域資源と協働した取り組みにより、事業が発展するなどの成果がありました。		高齢者だけでなく、子育て・障害児者支援の事業を実施しており、自主活動化に向けた支援にも取り組んでいます。また、施設の特徴である園庭を活用した園芸を通じて、ボランティア育成に取り組んでいます。	新たな地域のニーズに迅速に対応し、地域資源や人材を活用して新たな活動を立ち上げています。活動の支援においては、活動者の持てる力を十分に発揮して自主的な展開ができるよう支えています。	行政との協働事業や自主事業を通して地域のニーズを把握し、新たな事業の計画化を進めています。他機関との連携により新たなボランティアを発掘し継続活動へのコーディネートを行っています。	「地域食堂」の開設に向けて、担い手づくりや組織化等、地域の福祉保健団体の新たな立ち上げに協力して、継続的に支援しています。また、ボランティア育成を目的とした講座の開催等、ボランティア活動の活性化に取り組んでいます。
	生活支援体制整備事業	担当圏域内で行われる地域住民による会議に積極的に参加し、必要な生活支援・介護予防・社会参加にかかわる活動・サービスの創出等に向けた働きかけを意欲的に行っています。	5職種それぞれが職種としての役割を発揮し、地域ケアプラザ全体で事業推進に取り組んでいます。	5職種会議や定期的な情報交換を通じ、役割分担を図っています。地域ケアプラザ以外で介護予防の活動場所が少ないという課題をふまえ、今年度「たかたの丘サロン」を立ち上げる等、職員一体となり事業を推進しています。	5職種それぞれが職種としての役割を発揮し、地域のケア委員会の事務局として、調整・とりまとめ等地域住民の共通理解を支援しながら取組を進めています。	担当圏域内で行われる地域住民による会議に積極的に参加し、地域の現状把握や課題解決に向けたアプローチを実施しています。また、介護予防・生活支援サービス補助事業の通所型支援について、これまで積み重ねた地区分析を基に申請、運営支援を行っています。	5職種会議や法人全体などの会議を通して情報共有や連携に努めました。また、地区毎の情報をマップ化して、アセスメントなどに活用しました。	5職種が連携し地域資源の開発やボランティアグループ化につながる事業展開を図るため、各職種が地域のさまざまな会議等に積極的に参加して現状を把握したり、課題解決に向け協議体等を開催するなど、取り組んでいます。介護予防・生活支援サービス補助事業の運営・支援を行っています。	優先的に支援すべき地区について、生活課題やニーズを把握し、地域ケアプラザ内で情報が共有されています。	協議体を通して、担当圏域内で挙げられている地域課題を区役所や区社協、地域住民の方々と情報共有し課題解決に取り組んでいます。また、近隣の高齢者施設等と情報交換も行い、協力関係の構築に尽力しています。	
	地域包括支援センター運営事業	地域からの相談に対し、迅速に個別訪問と状況把握を行い、必要な関係機関につなげています。認知症高齢者への対応については、徘徊高齢者捜索ネット(さがしてネット)の事務局として積極的に関わり、徘徊高齢者の捜索や保護、地域住民への普及啓発に取り組んでいます。	認知症キャラバンメイトとともに、さまざまな機会をとらえ認知症に関する普及啓発に取り組んでいます。	認知症予防ゲーム「スリーA」の担い手として、新たなボランティアグループが立ち上がり、地域で活動できる人材の発掘・育成につながっています。	さまざまな機会を活かし、介護予防・認知症に関する普及啓発に取り組んでいます。	認知症サポーターの養成では独自の啓発用DVDを作成する等、担当圏域の特性に応じて、きめ細かく企業や地域住民を対象に講座を実施しています。また、認知症カフェの取組は団体の運営を支援するだけでなく、民生委員等と連携して利用者をカフェにつなげるなど、地域の支援体制を強化する試みとなっています。	高齢者人口の多い大規模な圏域で多数の相談件数に対応していくために、樽町地域ケアプラザに加え、綱島・師岡に出張相談所を開設し、各地域の相談対応に努めています。	地域での認知症カフェの立ち上げや活動を支援し、認知症の本人と家族が安心して暮らせるようネットワーク構築に努めています。	地域での認知症カフェの立ち上げや活動を支援し、認知症の本人と家族が安心して暮らせるようネットワーク構築に努めています。	年々相談件数も増え、地域における相談窓口として定着しています。今年度は高齢者住宅での定期的な出張相談会を実施し、より地域に密着した高齢者のニーズ把握を図っています。また、スリーAを行う自主グループも立ち上げ、認知症の予防・対応にも力を注いでいます。	

【評価の考え方】

評価	内容
S	特筆すべき実績・成果が認められ、事業の実績が優良な施設
A	事業の実績が良好であった施設
B	改善の必要性が多数認められ、事業の実績が良好でない施設